

こども相談をご利用になるみなさまへ

なないろくれよん福祉センター
代表 日和田美幸

こどもが病気になったとき、親としての気持ちは皆さん同じです。少しでも早く良くなるようやってあげられる事がないか考え、主治医とよく相談し、最善を尽くして治療にあたると思います。

病気がすぐに完治することもあれば、治療が落ち着いてからも病気と付き合い続けなければならないこともあります。

こども相談部では、治療中のご家族の心配や、ご自宅での生活の場面を想定した福祉や教育の困り事の相談について、一緒に考え、必要となる関連機関と共有して、自立に向けた支援をしていきたいと考えています。

ご家族の皆様と、いろいろなお話ができるよう、医療・保健・福祉・教育に関する相談員を配置していますので、ぜひご相談ください。

気軽にお話をしていただけるよう、親しみやすい相談員をめざして参ります。

なないろくれよん こども相談部
直通電話 080-6052-6685

平事務所:いわき市平上荒川字長尾 74-8

TEL 0246-28-8802 , FAX0246-28-8803

小名浜事務所:いわき市小名浜花畑町 11-3

TEL0246-84-5662 , FAX0246-84-5663



いわき市小児慢性特定疾病児童等 自立支援事業のあゆみ

(H30年4月～H31年3月の活動)

1. 相談支援事業

自立支援事業の同意を得た病児家庭への連絡、相談支援、支援計画の作成

2. 交流会の実施 (3回)

学識経験者や小児科医による

小児慢性特定疾病への理解を促す講演とこどもが参加できるイベントを実施

3. きょうだい支援

シブリングサポーターのワークショップ研修を受講

きょうだいさんのための支援イベントとして、レクリエーション活動を2回実施

4. 研修等参加

- ・自立支援員研修会 (第5回・第6回)
- ・精神・発達障害者しごとサポーター
- ・移行期医療支援者養成研修会
- ・自立支援員成果報告会 等に参加
- ・厚生労働省の難治性疾患政策研究事業、「小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の発展に資する研究」への研究員協力

いわき市委託

小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

こども相談だより

No. 3



病気の子どもの福祉相談をお受けします

なないろくれよんこども相談部

直通 080-6052-6685

なないろくれよん

こども相談部の活動事例報告 (平成30年度)

・小児慢性特定疾病児童等への相談支援

相談

医療的ケアを要する状態でNICUを退院する事となるが、生活のイメージが湧かない

支援

- ・同じ経験をした方から伺った体験談を案内
- ・訪問介護サービス等受けられる支援を紹介

相談

進学志望の高校が、慢性の疾病にかかっている事を配慮してくれるか不安

支援

- ・受験で揺れる家族に寄り添う支援
- ・不安な点について、志望校に確認

他に

- ・悩みを共有できる人が欲しい
- ・同じ病気の家庭との交流の機会
- ・幼い患児やきょうだいへの説明
- ・成長した後の通院先について
- ・就職活動について
- ・成人後の医療費負担等の相談への支援

・交流会

9/29 第一回 交流会

講演 「小児慢性特定疾病といわき市のサポート体制」
イベント「ハロウィンに関する工作・仮装」



12/9 第二回 交流会

- ・相談会
- ・イベント「スノードーム作成」「讃美歌の斉唱」

2/9 第三回 交流会

講演 「病気のある子どもを育てる事」
講師：いわき市医療センター 鈴木潤先生
イベント「バレンタインカード作り」



・きょうだい支援イベント

8/18 シブリングサポーター研修ワークショップ

きょうだい支援活動を行っているNPO法人しぶたねさんから病気のこどものきょうだいが持ちうる気持ちを学び、小学生きょうだい向けの体を動かして楽しむワークショップを体験



10/8 第一回きょうだい支援イベント

病気のこどものきょうだいが主役となり、いわきグリーンベースを元気に駆け回っていました

3/16 第二回きょうだい支援イベント

いわき短期大学のボランティアさんも一緒に参加しての楽しい時間でした。

